

丹波中学校だより

# 清流の辺

せいろゆう の ほとり



第13号

平成30年 3月 12日 (月)

文責：丹波中学校長 志村雅巳

## 君たちの宝物・・・それは、一生懸命さ！そして、ひたむきさ！

数週間前、私は何年かぶりに教頭先生や何人かの先生と一緒に体育の授業を行いました。私は体育の教師、教頭先生は高校時代体操競技部ということで、マット運動は大きな危険を伴う上に、より体育の専門的な経験や知識も必要なため行ったわけですが、久しぶりの授業は大変楽しく机に向かって仕事をしたり、会議をしたりすることが多い中で、改めて教師の生きがいみたいなものも感じることができました。それ程たくさんの時間を指導したわけではなかったですが、生徒たちは、めきめきと力をつけていき、全員が目に見えて上達していきました。生徒の中には「小学校の時も含めて、今まで全然できなかったのにできるようになった。」という声もありました。

人には当然、身体能力に個人差はありますが、身体能力だけが上達を促しているのではありません。私の大学の同級生の中にも全日本選手やオリンピックに出場した人たちもいました。しかし、その人たちが全て、凄い身体能力を持っていたかという、そうではないのです。逆に、「これは得意だが他は苦手だ。」という人の方が多いくらいでした。それでは、どうして凄い結果を残せる選手になることができたのか。当時、私は「強豪校出身だから」くらいに思っていました。しかし、それだけではないことに指導者になって気がついたのです。

確かに、指導者側の力量によって力の差が出てくることは否めません。それ故、指導者は研究しより早く・より簡潔に伝達する方法を探し続けるのです。しかし、そこから先は本人次第なのです。つまり、「本人の真面目に一生懸命に取り組むという気持ち、そしてひたむきに取り組む姿勢」が必要なのです。これを持たない限りは、どんな上級指導者やどんなトレーニング方法を持ってしても成功はないのです。

丹波中生、この1年間見てきて、君たちはその大切なものを既に持っています。どんなことにも前向きに一生懸命にひたむきに取り組んで来ました。この宝物を、これから先もずっと大切にしてください。そして、どんな苦境に立ったとしても忘れずに持ち続けてください。必ず光が見えてきます。

- ① どうすれば出来るのか**ポイント**を明確にする
- ② **できない理由**を探る(分析・反省)
- ③ **ポイント**を整理する
- ④ **真面目に一生懸命**に取り組む
- ⑤ **ひたむき**に取り組む

### 卒業生へ！

今日は卒業証書授与式。3年生にとっては旅立ちの日となります。式辞でも言いましたが、これから先多くの困難が立ちはだかって来ます。しかし、決して諦めないで下さい。「疲れた時は休めば良い！後戻りしても良い！それでも、しっかりと目標を見定めて諦めなければ、いつかは近づいていきます。」そしてもう一つ「**お陰様！**」を見つけながら生活して行って下さい。人は辛い時こそ、後ろ向きに考えがちになります。しかし、後ろ向きに捉えたところで状況は変わりませ。むしろ悪化していくでしょう。ならば、前向きに捉え、いつでも感謝の気持ちを持つことで自分が幸せになるはずです。

### 保護者の皆様方へ

私が丹波山村に赴任して間もなく1年になろうとしています。この1年間、本当に支えていただき職員一同、心より感謝申し上げます。至らない点多々あったかと思えます。今後においても多くのご意見をいただくとともに、ご支援・ご協力をいただきながら子供たちのために一緒に頑張っていきたいと思えます。よろしくお願い致します。